令和7年度

サービス管理責任者等実践研修

事前課題&ワークシート

|  |  |
| --- | --- |
| 所属事業所名 |  |
| (ふりがな)氏名 |  |

注意事項（必読！！）

研修に関するご案内（事前準備と当日の持ち物）

(1)提出課題と当日使用資料について

・各項目は「**事前課題**」と「**演習時使用**」の2種類に分かれています。

・「**事前課題**」①～⑫を記入し、指定された期日までに事務局へご提出ください。

・「**演習時使用**」の項目は、研修当日に演習で使用するので事前記入は不要です。

・「**事前課題**」の記入枠が狭い場合は文字数制限がある場合を除いて広げていただいて構いません。

(2)研修当日に持参するもの

以下の資料は印刷して、研修当日に必ずご持参ください：

・令和7年度サービス管理責任者等実践研修　事前課題＆ワークシート

・別紙1-猪苗代太郎 事例の概要・アセスメントシート

・別紙2-事例補助資料

・別紙3-スマイル猪苗代太郎個別支援計画(令和5年・令和7年）

(3)「 個別支援計画の運営方法」についての補足

・個別支援計画の運営方法では、「猪苗代太郎」という架空の人物をもとに支援計画を検討します。

・福島県で基礎研修を受けた方は、基礎研修時に配布された「猪苗代太郎」に関するアセスメント等を手元にご用意くださると、課題解決の糸口になります。

・福島県外で基礎研修を受けた方は、猪苗代太郎に関する基本情報をお送りしますので、必要な方は事務局までご連絡ください。**(※福島県内で受講したが紛失した方の事務局への基本情報要請は厳禁です。)**

(4)事例報告様式の準備について

・「**事前課題⑫ 事例報告様式**」は、研修2日目のグループワークで使用します。

**事前課題⑫ 事例報告様式**を6部印刷し、研修当日にお持ちください（配布用）。

令和7年度サービス管理責任者等実践研修　事前課題&ワークシート

**1-1　モニタリングの方法(事前課題)**

支援の原点である「人としての普遍性」や「その人にとっての生きる価値」について、ご自身の経験を通して考えることから始めます。支援者である私たち自身が、一人の人間として何を感じ、何を大切にし、どのように困難を乗り越えてきたかを振り返ることが、利用者一人ひとりの人生に寄り添うモニタリングの第一歩となるからです。ご自身の内面と向き合う課題ですが、正解はありません。リラックスして、ご自身の言葉で自由にご記入ください。

**事前課題①**ご自身の「困難を乗り越えた経験」を振り返る

・「人としての普遍性の確認」に関連する課題です。

私たちは皆、人生で様々な困難に直面し、それを乗り越えたり、あるいは乗り越えようと努力したりしています。ご自身の経験を一つ、思い出してください。

1. あなたが過去に経験した「悲しかったこと、辛かったこと、困難だと感じた状況」とは、どのようなことでしたか？(例：大切な人との別れ、仕事での大きな失敗、目標を諦めた経験、人間関係の悩みなど)

|  |
| --- |
|  |

1. その困難な状況を、どのようにして乗り越えたり、気持ちを切り替えたりしましたか？ 誰かの助けや、何かのきっかけがありましたか？(例：友人に話を聞いてもらった、趣味に没頭した、環境を変えるために旅行に行った、専門家に相談したなど)

|  |
| --- |
|  |

1. その経験から、人が困難に立ち向かう時に「力になるもの」は何だと思いますか？

|  |
| --- |
|  |

**事前課題②**ご自身の「生きる糧（心の糧）」を見つめる

・「人生の価値 生きる糧の確認」に関連する課題です。

「心の糧」とは、あなたの日々の生活を支え、心を安定させ、喜びや意味を与えてくれる活動や事柄です。大きなことでなくても構いません。

1. あなたの「心の糧」となっていることは何ですか？ ３つ挙げてください。(例：ペットと過ごす時間、好きな音楽を聴きながら散歩すること、週末に家族と料理をすること、一人で静かに読書する時間など)

|  |
| --- |
| １.２.３. |

1. 上記で挙げた「心の糧」は、あなたの生活にとって、なぜ大切なのでしょうか？ それがあなたの心にどう作用するのか、エピソードを交えたうえで、感情や背景を含め少し具体的に書いてみてください。(例：「ペットと過ごす時間」→ 無条件に自分を受け入れてくれる存在に癒され、仕事のストレスが和らぐから　3つ全てではなく1つでも構いません)

|  |
| --- |
| １.２.３. |

**事前課題③**かつての自分の夢や今の目標をまとめてみましょう。

自分の人生の目標が上手くいかなかったり、別なものに変わったりしたことを確認してみましょう。目標が変わることはいけないことではなく、人として当たり前のことです。うまくいかない理由は、ひとそれぞれですが、人が生活を変える時はそれなりの理由が必要となります。

|  |  |
| --- | --- |
| どんな夢を持っていましたか? | 例　歌手・看護師・水泳選手　など・ |
| その夢をあきらめた理由は? | 例　才能がない事に気が付いた・目標が高すぎた　など・ |
| 今の生活で変えたいことや目標はありますか? | 例　禁煙・ダイエット　など・ |
| その目標を立てた理由は? | 例　家族に長生きしてと言われた・痩せてモテたい　など・ |

**事前課題④**現在の支援における「モニタリング」を考える

・「モニタリング」について、現在の実践を振り返ります。

1. 現在支援している利用者の方を一人思い浮かべ、その方の個別支援計画に記載されている目標の中から一つを選び記入してください。その目標に関して、現時点での達成状況やご本人の様子などを、簡潔に記述してください。（※個人が特定されないよう、プライバシーに十分ご配慮ください）

|  |  |
| --- | --- |
| 計画上の目標 |  |
| 現状 |  |

1. その目標の達成がうまくいっている、あるいは、うまくいっていない理由について、あなたが現時点で考えていることを自由に記述してください。

|  |
| --- |
|  |

**1-2　モニタリングの方法(演習時使用:研修1日目9:20～)**

私たちが日々行っている障がい者(児)の支援は特別なものではなく、自分と同じ人間としての変化や成長を理解し、それらを前提に支援する事が大切です。自分の経験を話したり、他人の経験を聞いたりすることで、モニタリングの視点や目的、手法等を確認してみましょう。ここでは研修時にペアになった方のプランを作成します。

**演習時使用①**ペアになった方はどんな人ですか?

ペアになった方の発表を聞き取り、相手の人生において大事にしているものや変えてみたいこと、失敗したこと、ストレングスなどをメモしてください。(他人から見たらほんのささいなことでも、相手にとっては非常に重要な事柄があると思います。また、人がなにかの行動を起こす時には、内発的な動機が必要となることも考えてみましょう。)

|  |
| --- |
| <わたしのペアになった方は「こんな方」です。>(フリースペース　自由に使ってください) |

**演習時使用②**プランシートの作成

ペアになった方のストレングスを見出し、今の生活で変えたいことや目標を達成するためのプランを立ててください。(あなた自身ではなくペアになった方のプランシートです)

|  |
| --- |
| ペアになった方の変えたいことや目標は何ですか? |
|  |
|  |
| ペアになった方のストレングス(強みや長所、能力など)を書いてください。 |
|  |
|  |
| ペアになった方の変えたいことや目標達成のための長期目標を考えてください。例　禁煙に成功したらタバコ代を貯めて旅行に行こう　痩せてSNSにBefore Afterの写真をアップしよう　など期間を重要視せず明確で価値のある目標 |
| ・ |
| 長期目標を達成するための小目標を考えてください。例　一日に吸うタバコの本数を減らしてみましょう・禁煙外来を受診してみましょう・一日15分のウォーキングを始めてみよう・毎日体重測定をしましょう　など1週間から10日程度で達成できそうな具体的な目標 |
| 第１小目標 | ・ |
| 第２小目標 | ・ |

<ペアの方のプランシート>

**演習時使用③**評価

あなたが立てたプランシートを発表し、ペアになった方がどのくらいの可能性で到達できるか確認してください。小目標の場合は１週間から10日程度でこの目標を達成する自信がどれくらいあるか確認してください。

※ペアになった方は忖度せずに「どこが難しいと感じたか」「どの部分が簡単すぎたと感じたか」等を相手に伝えてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 目標項目 | プランシートの目標をペアの方に評価してもらい、評価の内容を記入してください。 |
| 長期目標 |  |
|  |
| 第１小目標 |  |
|  |
| 第２小目標 |  |
|  |

**2-1サービス提供職員への助言指導について(事前課題)**

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者（以下、サビ児管）の重要な役割である「サービス提供職員への助言指導」について、その方法や必要な体制づくりを振り返っていただきます。

この課題はご自身の事業所における現状を振り返り、課題を整理していただくことで、講義内容の理解を深め、演習でのグループディスカッションをより有意義なものにすることを目的としています。ご自身の事業所における「職員への助言指導」の現状について、以下の4つの視点で振り返り、具体的な状況や課題、感じていることなどを簡潔にご記入ください。（研修当日に使用しますので、キーワードや箇条書きで構いません。）

**事前課題⑤**日常業務での助言・指導

サビ児管として、日常的に職員へどのような助言や指導を行っていますか？（例：OJT、声かけ、面談など）また、その際に意識していることや、難しさを感じていることは何ですか？

|  |  |
| --- | --- |
| 現状 | ・工夫している点（例　職員が困っている様子を見かけたら、すぐに声をかけるようにしている。支援でうまくいった点は、朝礼などで全体に共有し、褒めるようにしている。） |
|  |
| 課題 | ・難しいと感じる点（例 注意や指導をすると、職員のモチベーションを下げてしまうのではないかと懸念がある。多忙な中で、記録を書きながらの「ながら指導」になってしまいがち。） |
|  |

**事前課題⑥**指導を行うための体制（仕組み）

あなたの事業所には、職員への助言・指導を計画的・継続的に行うための「仕組み」がありますか？（例：定期的な1on1ミーティング、スーパービジョン、研修制度など）

|  |  |
| --- | --- |
| 現状 | ・工夫している点（例 月1回、サビ児管と職員の個人面談の時間を設けている。外部のスーパーバイザーを年2回招いている。） |
|  |
| 課題 | ・難しいと感じる点（例 形式的な面談になってしまい、職員の本音を引き出せていない気がする。明確なルールがなく、助言指導がサビ児管個人の力量に依存している。） |
|  |

**事前課題⑦**日常での業務的コミュニケーション

職員間の報告・連絡・相談は円滑に行われていますか？ チームとしての一体感や、職種間の連携はどのように図られていますか？

|  |  |
| --- | --- |
| 現状 | ・工夫している点（例 毎日、業務日誌と連絡ノートで情報共有を行っている。職種（支援員、看護師、調理員など）に関わらず、全員が参加するミーティングを週1回実施。） |
|  |
| 課題 | ・難しいと感じる点（例 特定の職員に情報が偏りがちで、非常勤職員まで伝わっていないことがある。他職種への遠慮からか、専門外のことについて意見を言いづらい雰囲気がある。) |
|  |

**事前課題⑧**業務的コミュニケーションを行う体制（仕組み）

職員間の円滑なコミュニケーションを促すための「仕組み」はありますか？（例：朝礼・終礼のルール、情報共有ツールの活用、定期的な会議など）

|  |  |
| --- | --- |
| 現状 | ・工夫している点（例 朝礼でその日の利用者の特記事項と職員の動きを確認するルールがある。LINE WORKSなどのICTツールを導入し、迅速な情報共有に努めている。） |
|  |
| 課題 | ・難しいと感じる点（例 会議が報告だけで終わり、建設的な議論や相談の時間になっていない。ICTツールに不慣れな職員がおり、活用度に差が出ている。） |
|  |

**2-2サービス提供職員への助言指導について(演習時使用:1日目11:00～)**

**演習時使用④**自己評価

講義の内容やグループ演習での意見を照らし合わせて自己評価を行い、事業所へ戻ってやるべきこと、同僚や後輩にこんな言葉を掛けてあげようなどをまとめてみましょう。

※事前課題の発表やグループ演習で「今までこのようなことが不十分だった」「これなら事業所に戻って取り入れられる・取り入れてみたい」という内容を記入してください。

|  |
| --- |
| ・サビ児管として、職員に日常業務での助言指導が適切に行えているか振り返ってみましょう。 |
|  |
|  |
| ・職員に対し会議やスーパービジョン（以下、SV）だけではなく日常の報告や相談などが円滑に行えているか振り返ってみましょう。 |
|  |
|  |
| ・あなたの職場(組織)の体制をどのように変えると、今以上に職員への助言指導が円滑に行えるか考えてみましょう。 |
|  |
|  |
| ・業務内容や報告等チームの中でどのように確認し共有すればよいか考えてみましょう。 |
|  |
|  |

**3-1****個別支援計画の運営方法(事前課題)**

あなたの立場は、スマイル（就Ｂ）のサービス管理責任者とします。別紙1-猪苗代太郎 事例の概要・アセスメントシートにある「佐藤さん宅を覗き込んでいたのは太郎さんではなく、近所の方の誤情報だった」ことが判明しました。このことを機にスマイル（就Ｂ）職員は今までの自分たちの太郎さんへの関わり方や接し方を振り返ることにしました。基礎研修で皆さんがかかわった猪苗代太郎さんの現在は、どんな状況にあるでしょうか。

別紙1-猪苗代太郎 事例の概要・アセスメントシート　別紙2-事例補助資料　別紙3-スマイル猪苗代太郎個別支援計画(令和5年・令和7年）を読み込んで記入してください。「スマイル猪苗代太郎個別支援計画　令和5年」は太郎さんがスマイルを利用することになった時の計画　「スマイル猪苗代太郎個別支援計画　令和7年」は直近の計画とします。

※基礎研修を福島県外で受講された方は事務局へ連絡してください。

**事前課題⑨**太郎さんの思い

太郎さん自身は現在の状況をどう感じていると思いますか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 太郎さんの現在の状況に〇をつけてください。 |  | 満足 |
|  | どちらでもない |
|  | 不満、不安、不信 |

太郎さんが現在の状況を上記のように感じていると思った根拠を書いてください。

|  |
| --- |
|  |

太郎さんが現在の暮らしについて身近な人や信頼できる人、親身になってくれる人に話をしたとします。太郎さんはどのような事を話したと思いますか? あなたが太郎さんに成り代わり、100文字程度で話した内容を書いてください。(「私は今、」で始まるような語り口調の文章で100文字程度は厳守してください。)

|  |
| --- |
|  |

**事前課題⑩**太郎さんに対する職場内支援会議の開催

事前課題⑨の状況を踏まえて事業所内で急きょ太郎さんに対する職場内支援会議を開催することにしました。次の設問に答えてください。

|  |
| --- |
| ・円滑で活発な職場内支援会議にするため、会議の議題、開催の理由、目的を考えてみましょう。 |
| 議題→理由→目的→ |
| ・上記を踏まえ、スマイルのサービス管理責任者を含め全職員は何に気を付けて支援せねばならなかったですか? |
|  |
| ・あなたはサービス管理責任者として太郎さんの思い描いていた将来像を実現するため、これから何をしなければならないと思いますか? |
|  |

**4-1自立支援協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み(事前課題)**

**事前課題⑪**太郎さんの状況から地域課題を読み取る

太郎さんの事例を通して、「これは太郎さんや事業所だけでなく、地域全体で考えるべき課題では？」と思われる点があれば、気づいた範囲で挙げてください。

* 箇条書きや思いついたことだけでも構いません。
* 「(事例のこの箇所は)地域の理解不足かな？」「(事例のこの箇所は)制度のはざまで困っているのかも？」など、はっきりしなくても気になったことを自由に書いてください。
* 具体的な気づきや、地域として取り組むべきだと感じたことがあれば、それもぜひお願いします。

|  |
| --- |
|  |

**5-1実地教育としての事例検討会の進め方(事前課題)**

**事前課題⑫**事例報告書の記入と実践

事例報告様式(記入ポイント)を参考に、次ページの「事前課題⑫　事例報告様式」をできる範囲で構いませんので作成してください。

※内容は「あなた自身が今まで支援に携わった方で困っていたり悩んでいたりする事例」が適切と思います。演習時にグループワークとして発表しますので個人情報には十分配慮し記入してください。

※猪苗代太郎さんの事例ではありません。あなた自身が支援した方の事例になります。

※演習時には作成した事例を5分にまとめ、グループ内で発表しますので、あらかじめ練習しておくことをお勧めします。

※次ページ「事前課題⑫　事例報告様式」を研修二日目のグループワークで使用しますので、事前課題⑫事例報告様式を6枚印刷し持参してください。研修時のグループ受講者へ配布します。

**事前課題⑫　事例報告様式**

事例提供者( )

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象者(仮名) | 様 |  |
| 年齢 |  | 性別 |  | 障がい名 |  |

|  |
| --- |
| 提供理由(支援者が困っている事) |
| アイデアをもらいたい点 |
| 本人の生活に対するイメージ　本人の言葉や行動 |
| 家族構成(ジェノグラム) ※手書き可 | エコマップ　※手書き可 |
| 経過と現状(概要) |
| ストレングス | 性格・人柄/個人的特性 | 才能・素質 |
| 環境のストレングス | 興味・関心/向上心 |

※研修当日、このページを6枚印刷し、持参して下さい。

事例報告様式(記入ポイント)

**「事例提供者」には研修運営上必要なため、あなたの本名を記入してください。**

**「対象者」の欄には本名やイニシャルではなくAさん　Bさん　のようにして下さい。**

事例提供者( )

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象者(仮名) | 様 |  |
| 年齢 |  | 性別 |  | 障がい名 |  |

**知的障がい・身体障がい・自閉症・ダウン症など、わかる範囲で複数記入可**

|  |
| --- |
| 提供理由(支援者が困っている事)・なぜ、あなたが、この利用者・家族の事例を選んだのかということについて、事例提出の意図や強調しておきたい部分について記述してください。・支援者自身が何に困っているのかを具体的に記載しましょう。・「ポイントはどこか」が分かるように記載しましょう。 |
| アイデアをもらいたい点・アイデアをもらいたいことはどんなことか箇条書きで記入しましょう。・「今後どのように支援したらよいか」等の漠然としたものはNGです。 |
| 本人の生活に対するイメージ　本人の言葉や行動・検討してもらいたいことに関連する本人や家族のニーズ、生活状況、言葉、行動などを記載しましょう。 |
| 家族構成(ジェノグラム) ※手書き可・記入方法がわからない方は「ジェノグラム」でネット検索し調べてください。**※ジェノグラム・エコマップは手書きでもデジタル作成でも構いません。デジタルツールの使用に不安がある方は、自由な形式で作成してください。** | エコマップ　※手書き可・地域や個人などを特定できないように「A市障がい者支援課　福祉課」「B病院心療内科」「相談支援事業所C」「就労継続支援B型D事業所」「友人男性E」のように記載して下さい。 |
| 経過と現状(概要)・事例の経過については、必ずしもすべてを記載する必要はなく、現状課題になっている部分や、検討してもらいたいことの根拠が分かる部分を中心に、コンパクトに記載するようにしましょう。ここで十分でなくても質疑応答で補うこともできます。 |
| ストレングス | 性格・人柄/個人的特性**・ストレングスについて****日常生活状況（住まい・家事・近隣の社会資源など）****経済生活****仕事や学校（通所・地域活動など）****社会的支援（支えになってくれる人）****健康（気を付けている事）****余暇（趣味・楽しみ）****生きがい（大事にしていること・人生観）****性格や人柄****などからストレングスを見出して、分類し記入します。** | 才能・素質 |
| 環境のストレングス | 興味・関心/向上心 |

**5-2実地教育としての事例検討会の進め方(演習時使用２日目16:35～)**

**演習時使用⑤**事例検討会の感想

実際に事例検討会をやってみて、どんなことに気づきましたか？必要性やこれだったら事業所に戻って事例検討会ができる　など記入してください。

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |

日々の業務に追われ忙しいなか、時間をかけ事前課題に取り組んでいただき、お疲れ様でした。研修当日、お会いできることを楽しみにしています。

実践研修スタッフ一同